

たんばりんぐ



黒井・兵主神社の秋まつり

目次

9月定例会・補正予算	2
決算特別委員会	4
議会の動き	6
代表(5名)・一般質問(18名)が登壇、市政をただす...	10
委員会報告	18
市民の投稿 / 編集後記	20

2008.10
第16号

市民サービスに 役立ったか

実質収支は黒字決算

9月定例会を9月1日から26日までの26日間の会期で開催しました。その中で、19年度一般会計・特別会計決算、20年度補正予算の審議、条例の制定などを慎重に審議し、それぞれ可決しました。決算についての審議の過程では、一般会計、特別会計の実質収支の大きな黒字が市民サービスに役立った結果なのか、また、早期の繰り上げ償還の妥当性、増え続ける未収金対策などに多くの議論がありました。

本会議での決算質疑

問 19年度の決算では実質収支は12億3747万円の黒字となった。これは、繰り上げ償還や積み立てに多くが充てられ、多くの事業が抑えられた結果ではないのか。結果として市民サービスの低下を招く決算になっていないか。

答 実質収支で一定額の剰余金の確保を図ること

問 19年度の決算では実質収支は12億3747万円の黒字となった。これは、繰り上げ償還の必要性については、公債発行が他の類似団体と比べて丹波市は1.5倍多くて、この縮減が課題だと考えています。積立金の13億円は合併特例債を活用した地域振興基金です。

問 市民税は増えているが、未収金も増えており、低所得者層に厳しい内容となっている。不納欠損にするなら減免措置をすべきではなかったのか。

答 市民税の増額は国の三位一体改革で税源移譲と定率減税の廃止などの組み換えで、増税とは考えていません。

問 基金繰り入れで支出が抑えられたのではないかと、10億6,800万円の繰り上げ償還について、一

気に返済することが市民のためにいいのか。

答 財政調整基金に基金繰り入れすることは、財政調整をするもので、毎年度変動を伴うものです。公債費については、国、県からの支出削減が懸念される中で、歳出の削減と投資の見直しを図りながら、繰り上げ償還をしていくことが有効だと考えます。

問 市税の確保について未収金対策をどのように考えているか。

答 市の内部で連携を図り、滞納を減らすよう努めます。

問 19年度決算で初めて健全化判断比率が示された。監査委員からは、市の財政状況は良好という意見書が出されたが、市は今後大きな事業を抱えている。合併特例債もまだ一部の執行であるが、今後、水道事業、ごみ処理施設などの事業を実施した場合、どのような比率になるのか。

答 実質公債費比率は17%台になる見通しです。財政健全化比率も大幅に悪化はしないと思いますが、市債の早期償還を行なうことなどが前提です。

一般会計決算

反対討論

賛成討論

- 平井 孝彦議員
- 太田喜一郎議員
- 田村 庄一議員
- 西本 嘉宏議員



△本会議での決算質疑の様子

景気対策に配慮し 事業前倒しへ

20年度補正予算は一般会計で18億5,997万円、13の特別会計で3億684万円の補正予算案を審議しました。

一般会計の歳出では、繰り上げ償還に約10億1,690万円が充てられたほか、景気対策に配慮した予算として各事業の前倒しとして約9,500万円が計上されました。

主なものは、道路舗装事業3,000万円をはじめ、ロードミラーの修繕約160カ所、防犯灯の設置約170カ所、中学校、幼稚園の図書購入などです。

また、福祉基金として今後の認定こども園の施設整備対策に1億円、消防防災施設等整備基金に1億5,000万円、学

校等整備基金に1億円が積立てられました。

補正予算

反対討論

西本 嘉宏議員

賛成討論

高橋 信二議員

条例審査

9月定例会に付された主な条例は次のものです。

●丹波市教育振興基本計画審議会条例の制定

改正教育基本法で、地方自治体における教育振興基本計画の策定について規定されたことに伴い、

各層の意見集約と審議検討の機関として丹波市教育振興基本計画審議会を設置するためのものです。

●丹波市立文化ホール条例の一部を改正する条例の制定



△学校のあり方も今後の課題

春日公民館の大規模改修にあたり、春日文化ホールと当該公民館を一体的に管理することに關わるものです。

●丹波市立春日テニスコートの廃止

老朽化が著しく、また、春日総合運動公園にもテニスコートが整備され17年9月から休止されています。このたび、当該施設を廃止し、春日庁舎の駐車場として有効利用を図ろうとするものです。



△廃止されたテニスコート

●丹波市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪の凶悪化や関連犯罪が頻発している現状から、市として、犯罪被害者およびその遺族の精神的被害についての早期回復を支援するためのものです。

人権擁護委員の推薦同意

議会は、次の方を新たな人権擁護委員の推薦に同意しました。

- 柏原町挙田 黒田 由弘氏
- 山南町小野尻 大畑 洋文氏
- 柏原町柏原 廣田 誠信氏
- 氷上町稲畑 足立 正和氏
- 氷上町絹山 豊嶋 重子氏
- 青垣町市原 足立 勲氏
- 春日町歌道谷 井本健次郎氏
- 春日町東中 荻野 正一氏
- 山南町上滝 石田 隆志氏
- 市島町乙河内 芦田 正行氏

● 決算特別委員会 ●

「収納対策に全力を」

決算特別委員会で集中審査

議会では、平成19年度決算を審議するにあたり、本会議での質疑とあわせ、12名の委員による決算特別委員会を設置し、4日間にわたり市長、副市長をはじめ、各担当部長などの出席を求め、審査を行いました。

委員会では、市税や使用料、手数料、給食費などの未収金や不納欠損金が増加していることなどで収納対策や生活困窮者への対策など多くの質疑がありました。

主な質疑

問 不納欠損金は、約8,600万円で前年度より約1,600万円増えている。どう対応しているのか。

また、給食費の未収金が増えてきているがどうか。

答 法的根拠にもとづき対応しています。19年度の増加の要因は企業の清算処理による即時停止等が増えていきます。

問 11人に一人が滞納していることになるが、その対策はどうか。項目別に

見ると、市民

税、住宅使用料、学校給食費の滞納が増えているがその対策はどうか。

答 全体で6,213人です。現年度分が増加していますので法的手段で対応しています。今後条例制定も必要ですが、自力執行権のないもの

行権のないもの



△決算特別委員会

については、裁判手続きを検討しています。

問 収納対策は担当課だけでなくプロジェクトチームをつくって対応する必要があるのではないかと。

答 各担当課で厳しく対応したいと考えています。今のままでいくのではなく、それぞれの状況の中で対応を考えていきます。

問 学校給食費の滞納状況はどうか。

答 19年度の未収金額は5月26日現在で、柏原・氷上71件190万942円、山南15件35万5,036円、青垣が11件36万8,136円、市島14件61万9,360円、春日16件66万1,628円です。

問 市には遊休地が多くある。処分の考えは。不動産業者による斡旋状況はどうか。

答 遊休地については、積極的に公売していきま

分譲地が対象ですが18、19年とも実績がありません。

問 防災無線のデジタル化による電波の統一が課題になっている。

相当な経費が必要になる。どう対応するのか。

答 デジタル化は、電波法の改正で数年の間に取り組んでいかなければなりません。経費は約25億円必要で今後調査研究します。

問 幼保一元化で柏原地域だけが目途が立っていない。今後の見通しはどうか。

答 柏原地域の認定こども園の取り組みは、検討委員会の答申を受けて、10年間で取り組んでいく方向です。柏原は、公立ですが、今後、地元協議をしながら法人化に向け



△青垣・応相寺団地

て、取り組んでいきます。**問** 中心市街地活性化事業で、現在の計画に対して国はどのような指摘をしているのか。広域的な視点とは、どのような考えか。

答 市の中心性としての位置づけの説明を求められています。柏原地域が交通の拠点を持ったエリアであると考えています。国へは、6つの核のひとつであると説明しています。

今後の施策に どう活かすか

委員会では、審査のとりまとめとして、次の意見を付し、本会議で報告しました。

一般会計

〈歳入全般〉

◆三位一体改革により、税源委譲がなされその中で市民税の未納額が増大している。税は、収入の根幹であり市の財政に大きく影響をするものである。

また、市税、給食費等の未収金や不納欠損が増加傾向にある。収納対策課と各担当課との連絡を密にし、今後もさらに職員による徴収や法的手段の執行、生活困窮者の相談を行なうなど徴収に努力されたい。

さらに、不納欠損になる前に対策を講じ賦課徴収を適切に実行してもらいたい。今後、滞納者の実態調査を行ない、納税

相談の強化や、コンビニ収納、クレジット払い等の民間を活用した収納対策を検討されたい。

〈総務費〉

◆福知山線の複線化に向けて、特急料金の一部助成を行う社会実験の実施など推進は図られているが、どのようにしたら乗客を増やすことができるか、今後もさらに調査し、推進を図られたい。

◆メール便を利用すると、通常の郵便より安価となる。メール便の利用が可能なものについては、積極的に利用されたい。

◆非常備消防の組織の改編が行なわれるなか、自主防災組織の強化に積極的な事業展開を図られたい。

〈民生費〉

◆柏原保育所の借地について、賃貸契約が終了する

までに、買取の方向で努力されたい。また、できないときは、賃貸契約の解除も視野に入れ、新たな用地等の購入を検討されたい。

◆シルバー人材センターが事務所として使用している水防倉庫について、目的外使用ではないか。自立してもらえるよう指導を願いたい。

◆幼保一元化事業の施設建設補助金について、入札については市の配慮が必要であり、今後類似施設が出てくる可能性がある。市の発注状況の中に入れるなど透明性を持たせられるよう研究を願いたい。

〈衛生費〉

◆篠山市清掃センター運営負担金については、篠山市より引き続き利用の要請があった。慎重な対応を願いたい。

〈労働費〉

◆日本の経済が低迷しているなか、丹波市の企業は疲弊しており、雇用奨

励補助金について、対象の枠を広げられないか検討されたい。また、中小企業に対する支援を検討されたい。

〈農林水産業費〉

◆松くい虫の防除事業を行なっているが、殺虫剤の成分について広く市民に公表されたい。

◆新規就農者に対する支援について、対象者の住居など積極的に受入れ体制を整えられたい。

◆農地の貸借について、担い手となる認定農業者と集落営農との間で「貸しはがし」事象も出てきている。それぞれの農業者の調整を図られたい。

〈商工費〉

◆薬草薬樹公園について外部からの経営指導等、指定管理になる前に経営の改善を図られたい。

◆企業誘致活動について、阻害する要因を詳しく分析し、企業誘致を推進されたい。

◆丹波市観光協会について、組織として一つになれるよう行政の指導助言願いたい。

〈教育費〉

◆学校用地として教育費で購入した土地の一部を駐在所用地に目的変更をしているものがあるが、計画を十分検討されたい。計画で事業実施をされ、適正な予算科目での執行を図られたい。



△石才駐在所予定地

◆給食の材料費については、地産地消の推進を図るため地元業者から購入するよう考えられたい。

〈消防費〉

◆消火栓の管理について、腐食等の改良に地元負担（2割）を廃止してはどうか。「安全安心のまちづくりに」の確立に向けて関係機関と協議を願いたい。



△消火栓と格納箱

特別会計

〈下水道会計〉

◆下水道料金について、格差の是正を願いたい。

〈水道会計〉

◆有収率の向上対策が急務であり、経営の改善を図られたい。

〔歳出〕

◆加入者自身が、漏水を早く発見できるように啓発を願いたい。

議会の動き

平成16年～20年の 主な記録



4年間をふりかえって

丹波市議会議長 山本 忠利

平成16年11月1日丹波市発足から今日まで、市民の皆様には、丹波市議会に對しまして何かとご支援を賜りましたこと心より厚くお礼申し上げます。

平成16年12月16日丹波市議会において、非才な私が議員各位のご推挙により、名譽ある初代議長に就任して以来4年間、旧町議会の議会運営の違いや党派制の導入などで議会運営に苦惱する時もありましたが、全議員が一丸となり丹波市の礎づくりに一致協力して市民の負託に應えていただき、今、その職責を大過なく果たし得ましたことに安堵いたしております。

議会の役割として、常に行政当局に對し、まず丹波市のためになるか、市民のためになるかを基本に考え、市民の代弁者として、議会の権威を高めたい、議会としての機能を十分に發揮するようにしたいという熱意で取り組んでまいりました。また、情報開示をして市民の皆さんにわかりやすい議会運営とするため、本会議だけでなく各委員会もすべて公開としてまいりました。

今日の課題として、地域医療の充実、環境問題、若者定住化促進、少子・高齢化対策、子育て支援、地域づくり事業、等々諸課題が山積しておりますが、市民が夢をもち、安全に安心して暮らせるためには、特に行財政改革を推進するとともに、地域産業が活性化するための施策展開が必要であると考えます。

今後は、地方分権の中で自立をしなければなりません。発想の転換をして、今、何が必要か、何をしなければならぬか見極めることが大切です。

今まさに丹波市は、礎から飛翔の時を迎えたと思えます。来る12月5日には第二期市議会がスタートいたします。市民の皆様の声の確に市政に反映し、課題解決に向けた取り組みを進めてまいりたいと存じますので、市民の皆様のご支援をお願い申し上げます。

平成16年

11月

氷上郡6町合併により丹波市誕生

市長、市議会議員30名選出される

初代議長に山本忠利氏、副議長に足立一光氏を選任

丹波市役所の位置を定める条例他236件の条例の専決を承認

平成16年度丹波市一般会計他暫定予算の専決を承認

助役に足立元氏、藤井敏弘氏、収入役に足立一幸氏の選任に同意

代表監査委員に谷垣渉氏、議会選出監査委員には田口勝彦氏の選任に同意

災害調査特別委員会を設置



平成17年

1月

教育委員会委員5名の選任を同意

教育長に木村壽彦氏の選任を同意

平成16年度丹波市一般会計予算他14特別会計予算を可決

農業委員会委員の推薦を同意

丹波市議政務調査費の交付に関する条例を可決

平成17年度丹波市一般会計予算他14特別会計予算を可決

3月

- 土地の取得を可決（春日町歌道谷）
- 地方六団体改革案の早期実現に関する意見書を提出
- 地方議会制度の充実強化に関する意見書を提出
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書を提出
- 30人以下学級実現に関する意見書を提出
- 自動車解体工場の建設に関する請願を不採択し、意見書を提出

- 就学前幼児保育の補助に関する請願を採択（仮称）道の駅「かすが」建設工事請負契約を可決

- 市営住宅国領団地建設工事請負契約を可決
- 政治倫理調査特別委員会を設置
- 行財政に係る調査特別委員会を設置



△道の駅（おばあちゃんの里）の
オープニングセレモニー

- 議員定数に係る調査特別委員会を設置
- 平成18年度丹波市一般会計予算他14特別会計予算を可決
- 丹波市総合計画（基本構想）を可決
- 丹波市障害者自立支援条例を可決
- 丹波市子育て支援手当支給に関する条例を可決（3チャイルドすこやか支援）
- 土地売却を可決（青垣工業団地）
- 道路整備の財源確保を求める意見書を提出
- 地域の医療を守るために地方中核病院の医師確保の意見書を提出

● **健康寿命日本一を宣言**

● **丹波市水道施設整備基本計画（水道ビジョン）を策定**

- 地方分権の推進に関する意見書を提出
- 丹波市「非核平和都市宣言」を決議

● **北近畿豊岡自動車道「春日和田山道路」が全線開通**

- 市道市島稲葉線柳橋上部工事請負契約を可決
- 上垣浄水場・電気工事請負契約を可決
- 平成17年度丹波市一般会計決算他14特別会計決算を認定
- 「障害者自立支援法」の改正を求める意見書を提出
- 柏原・氷上学校給食センター建設工事請負契約を可決

- 議長に山本忠利氏、副議長に広瀬憲一氏を選任
- 議会選出監査委員に吉見公之氏の選任を同意
- 丹波市議会議員政治倫理条例を可決
- 丹波市議会定数条例を可決（定数を30名から24名に）
- 丹波市立薬草薬樹公園に係る指定管理者の指定を否決

- 地域医療に係る調査特別委員会の設置
- 市道青垣中央線神楽橋改築工事請負契約を可決
- **恐竜化石の発掘はじまる**

- 平成19年度丹波市一般会計予算他13特別会計予算を可決
- 丹波市認定こども園の実施に関する条例を可決

- 柏原赤十字病院の存続と丹波市における地域医療の安定的かつ継続的な確保に関する意見書を提出
- 「人権侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める意見書を提出

提出

- 副市長に吉住康之氏の選任を同意
- 丹波市恐竜化石保護条例を可決
- **市内初「認定こども園よしみ」が開園**

- **地域づくり事業がスタート**

- 山南救急駐在所の24時間運用開始
- **丹波市の花と木を「かたくり」「もみじ」に決定**

- **平日夜間応急診療室を開設**

- 地域医療の確保・充実を求める意見書、決議を提出

- 平成18年度丹波市一般会計決算他14特別会計決算を認定
- 県立柏原病院脳神経外科の診療継続を求める意見書を提出

- **地域小児科医療確保対策事業を開始**

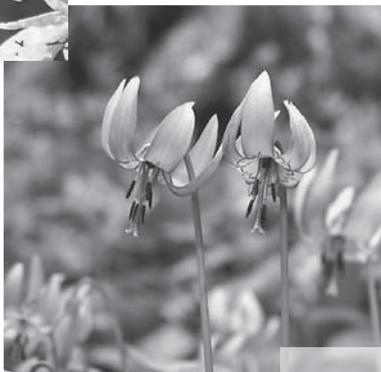
- 吉見小学校屋内運動場改築工事請負契約の締結を可決

- 丹波市一般廃棄物処理施設建設用地に関する請願を採択

- 丹波市議会議員及び丹波市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を可決



△市の木「もみじ」



△市の花「かたくり」



△恐竜化石発掘現場の現地調査

- 柏原中学校南校舎等改築工事請負契約を可決
- 平成20年度丹波市一般会計予算他13特別会計予算を可決
- 辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定を可決
- 丹波市医師研究資金貸与条例を可決
- 丹波市後期高齢者医療に関する条例を可決
- 丹波市立ながの保育園、こばと保育園の廃止を可決
- 「丹波市立中学校ヘルメット購入補助金について」監査請求を決議

● **山南地域の3保育園を統合し、「みつみ保育園」が開園**

- 兵庫県市議会議長会会長に山本議長が就任
- 丹波竜基金条例を可決
- 丹波市立春日自動車教習所条例を廃止する条例を可決
- 「後期高齢者医療制度」の改善を求める意見書を提出
- 平成19年度丹波市一般会計決算他13特別会計決算を認定
- 丹波市犯罪被害者等支援条例を可決
- 丹波市教育振興基本計画審議会条例を可決
- **丹波竜マスコットキャラクター「ちーたん」に決定**
- **春日自動車教習所を民営化**



△丹波竜マスコットキャラクター「ちーたん」



△改築中の柏原中学校



△民営化された春日自動車教習所

丹波市第29回定例会で代表質問には5名が一般質問には18名の議員が登壇しました。女性サポート・プラン、辻市政4年間の総括、地域医療、住民協働によるまちづくり、地上デジタル波などについて市長の考えをたどりました。



代表質問
市政をたどす
一般質問

代表質問

**アフタースクール教室
にゆとりを**

— 今年度中に対策を検討します

公明党

田坂幸恵議員

問 アフタースクール事業は、市内17箇所まで622名が登録されている。崇広小は、68名が利用しているが、一人当たりの確保スペースが国のガイドラインを超過している。過密による事故の危険性や職員の負担も増えている。また、船城幼稚園の預かり保育もスペースが狭い。両施設の場合の検討が必要でないか。

答 ▶ 柏原地域全体の公共施設のあり方を見直す中で、今年度中に対策を検討します。また、船城幼稚園については、遊戯室の

利用も検討します。

問 女性のライフスタイルも大きく変化している。生涯にわたる健康を守るため、病气予防に役立つ「女性の健康バスポート」の発行はできないか。

答 ▶ これまで40歳到達者に配布していましたが、健康手帳が必要な方に配布を本年からしています。今後、母子手帳の内容についても検討いたします。

問 妊婦健診助成は5回で4万円が県下最高だが、完全無料化や回数の拡大はできないか。

答 ▶ 申請されるほとんどの方が、限度額に達していません。事業の拡大については、県の補助金の動向も見据えていきます。



△手狭な崇広小アフタースクール

代表質問

辻市政4年間の総括は

— 各課題に積極的に取り組んできました

市民クラブ

堀 幸一議員

問 丹波市行政改革大綱は評価するが、住民にしわ寄せなく推進できるか。

答 ▶ 簡素で効率的な自治体経営と、市民サービスの向上を図るため、組織の合理化・事務事業の見直しを図り改革を進めます。

問 「心の合併」をめざし施策が実施されている。市長は成果をどう把握しているか。

答 ▶ 住民が主体となって、地域社会を形成しようとする意識が生まれたことが成果でありました。

問 最重要課題の地域医療体制の確保にどう取り組んでいるか。

答 ▶ 柏原赤十字病院は、医師の招へいなどに努力されています。県立柏原病院は8月に再生プランにより中核病院としての機能



△地域づくりの拠点
北山ふれあいセンター

回復に取り組まれていきます。両病院が医療機能を補完しあえる体制ができるよう支援をしていきます。

問 ごみ処理施設について、具体的計画はどうか。

答 ▶ 今後、「施設整備・基本計画・策定業務」の中で検討していきます。

問 市の「産業状況」は厳しい。商工会からの要望にどう対応するのか。

答 ▶ 事業の前倒しなどの予算措置を講じます。

代表質問

地域医療への支援計画を

― 病院は役割分担し、集約はしません ―

日本共産党
議員団

広瀬憲一議員

問 合併4年、市は市民に何をしたか。市の行政改革は市民の犠牲の上に成り立っている。膨大な余剰金を少しでも市民の暮らしに還元し、市の財政計画を市民の目線に見直すべきだ。

答 ▼ 財政環境の変化に応じて修正を行ない、健全財政に努めます。余剰金の活用は将来の課題解決や景気対策に活用します。

問 地域医療支援計画を立て、今後の医療を守れ。

答 ▼ ①国の医療改革ガイドラインが進む中で、県立柏原病院の現状は存続が危ぶまれる。中核病院として存続に市の支援を。②柏原赤十字病院は再生してきた。今後、総合病院として支援をし、病院建設に支援計画を立てるべきだ。③公的病院の役割分担と存続に展望を持ち、一分一秒を争う命を守れ。

答 ▼ ①地域医療循環型人材育成事業など医師を招へいし早期に中核病院として機能回復を望み、最大限の支援をします。

②柏原赤十字病院と基本協定を結び、医師確保と救急医療の受け入れを求めています。病院建設は、具体的な支援は考えていません。

③県・市も両病院の役割分担による一体的な医療提供を図り、現段階での統合集約は考えていません。



△病院存続に支援を

代表質問

中核病院のない医療圏域にならないために

― 丹波圏域医療会議で積極的に議論をします ―

清政会

足立正典議員

診療科	医師	看護師	その他
内科	田中 隆夫	佐藤 美穂	
外科	山本 健一	鈴木 浩二	
小児科	高橋 誠	渡辺 真由	
産婦人科	中村 由美	伊藤 千恵	
皮膚科	木村 大輔	山崎 花子	
泌尿科	佐々木 隆	田村 真由美	
眼科	山田 健	佐藤 美穂	
耳鼻科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
歯科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	
救急科	木村 大輔	木村 大輔	
ICU	佐々木 隆	佐々木 隆	
手術室	山田 健	山田 健	
検査科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
薬剤科	高橋 誠	高橋 誠	
放射線科	中村 由美	中村 由美	
理学療法科	木村 大輔	木村 大輔	
作業療法科	佐々木 隆	佐々木 隆	
言語聴覚科	山田 健	山田 健	
心療内科	鈴木 浩二	鈴木 浩二	
精神科	高橋 誠	高橋 誠	
緩和ケア科	中村 由美	中村 由美	

おでかけサポートは廃止か

継続に向けて調査研究します

木戸せつみ議員

問 おでかけサポート事業は陸運部、労働局の法に触れ、事業見通しが厳しいと聞く。利用者は大変心配をしておられる。どう対応するのか。

あわせて、公共バス事業の路線変更や展望は。

答 ▼介護認定を受けている人、障害者などは福祉事業としておでかけサポートを継続できるよう努めています。また、福祉タクシーの改善についても検討を進めています。路線バスの利用増進は、路線変更も解決策のひとつと考えています。交通不便地域は、地域が主体となった生活交通の創設に取り組みます。
問 市内の投票所は旧町のままで、青垣は柏原、山南の3倍投票所がある。市の財政負担も3倍多い。選挙管理委員会と市は全市民に公平な参政権を確保し、次期選挙を執行す



△おでかけサポート事業はどうなる

べきだ。

投票所の少ない地域で期日前投票所を増やしてはどうか。

答 ▼各地域で投票所数に格差が生じています。選挙管理委員会は、2年前に新投票区を設定し、議会に説明しましたが時期尚早であるとの結論でした。

次期市長・市議会議員選挙後、投票区の見直しについて再度協議します。

業況改善に向けた景気対策を

事業の前倒し等経済対策を実施します

太田喜一郎議員

問 長引く売上げの低迷などにより市の経済は悪化傾向にある。19年度の市が発注した工事や業務委託などの入札件数は331件、うち262件(79.2%)が市内業者の落札となっている。総額44億2,700万円で約25億円が市内業者の落札となり、約19億円が市外に流出したことになる。

「公共事業の市内発注の拡大や公共工事の早期発注」に取り組みべきと考えるがどうか。

答 ▼8月末の予算執行率は、33%に留まっております。事業の早期発注に努めるとともに、県民局にも協力を依頼しました。来年度以降の公共事業についても積極的に取り組みます。

問 「対策会議」の立ち上げはどうか。
答 ▼早急に対策を講じる必要があり、事業の前倒

しなどを中心とした補正予算を提案します。また、農・商・工連携の「丹波産業振興協議会(仮称)」を立ち上げ、中長期的な経済対策を講じます。

問 事業量増大に伴う人員不足について経験のある職員の適正配置が必要ではないか。

答 ▼職員異動については検討し、基本的には設計や現場監理は外部委託で補います。



△早期着工がもたれる加古川流域の治水対策

学校給食の食材の仕入れは見直すのか

地元生産者などからの購入を優先します

荻野拓司議員



△地元食材の納入を

問 現在、「丹波市食育推進計画」のもとに「食育」に取り組みまわってきている。食育は「食」を通じて子どもたちに地元の安全な農産物を提供し、また、農業の大切さ、食の安全性などを教えていくことが極めて重要であり、学校給食との関わりが大きい。

その学校給食の食材の仕入れが9月から競争入札に見直す考えだと聞く。そうであれば、①「食育」推進の課題とされてきた

地元の旬の食材の利用や、地場産農産物の自給率向上②学校給食の食材から地場産が締め出されることなどが懸念される。

仕入れへの対応の考え方はどうか。

答 ▼今までどおり地元の農産物生産者団体などからの購入を優先し、「食育推進計画」での農産物使用割合目標数値40%以上をめざしたいと考えています。

救急24時間体制を一日も早く

できるだけ早い実現に努力します

高橋信二議員



△24時間駐在を

問 丹波市が発足し4年を経た。市島地域の住民は合併により、救急24時間体制ができるよう大きく期待していたが、まったく実現していない。昨年、私の一般質問に市長は22年度には実施すると答えているが、計画を少しでも早くすることができないか。

答 市民の安心安全を守る上から、救急体制の充実が最たるものと考え、早期

実現に向け努力しています。何日かを24時間とすることができているかを研究をしてみます。

問 県は今回「県立柏原病院の再生プログラム」を発表したが、実現可能か。市長はどのように受け止めているのか。

答 県立病院は県の責任で一日も早い再生を図ってもらいたいと考えます。市民がお世話になるため、とりわけ救急について早く機能回復できるよう、市も支援しています。

問 学童通学路は、多くが地元努力により補修などし、維持している。連絡の窓口は、教育委員会が責任を持って関連部門と対応することとされたい。

答 通学路についての窓口は、教育委員会が関係部署と連携をとりながら対応していくこととします。

移動手段の今後の方向は

校区と相談、連携し進めていきます

山下栄治議員

問 広大な面積を持つ市は、総合的な交通対策や交通計画が急務である。次の点をどう考えるか。

- ① 路線バスの乗客の利便増進。
- ② 障害者と健常者の移動手段で福祉としての考え。
- ③ 子供の移動手段。
- ④ 免許証返納後の移動手段。
- ⑤ J Rと路線バスの連携。
- ⑥ 地域づくり事業での考え。

など全体の枠組の中で見極める必要があります。

④免許保有者の判断を尊重し、公共交通の取り組みを通じて考えます。

⑤J R、路線バスとも連携して補完関係を築き、利便性の高いサービスを提供することが望ましいと考えます。

⑥移動手段は地域ごとに需要が異なっており、校区と相談、連携しながら、持続可能で効率的な新たな移動サービスを創り上げていきます。

答 ①利用増進に向けた協議を重ね、道路網や安全、需要動向も考慮し、集客施設へ乗り入れられないか検討しています。

②福祉移送については、公共交通とのバランスを考慮し、適切な制度として運用できるよう調査研究を行なっていきます。

③需要や必要性、優先度



△移動手段の充実を

柏原赤十字病院との新たな関係を

市立病院構想は今後の課題です

岸田昇議員



△南保育園の園児たち

問 かくくり群生地周辺整備の地元要望に対する対応はどうか。

答 市として群生地山林の取得に向けて鋭意努力し、その後周辺整備などを進めます。

問 認定こども園の氷上地域3園構想で、東と南地区の統合を見直す考えはないのか。

答 協議会の意見も踏まえ、児童の推移などを見ながら慎重に進めます。

問 青垣水源地の周辺から水源確保の理解を得るには、春日地域の水源調査を行ない、新たな水源の提案も必要ではないか。

答 春日地域では過去の調査によると水量・水質的に無理があり、広範な帯水層が見込める加古川水系に頼らざるを得ません。したがって新たに春日地域での水源調査は考えていません。

浄化槽管理を市の直接管理で

直接管理は困難です

足立一光議員

炭化方式が本当によいのか

専門家により調査しています

足立鉄男議員

ごみの減量化は

必要不可欠な課題です

竹知正明議員

問 合併浄化槽は国、県、市町の施策として、集落

が密集していない所で進められてきた事業である。

公共下水道は行政が直接

管理しているが、なぜ合併

浄化槽は組合で管理しな

ければならないのか。組合

の補助金は削減されている。

市が直接管理すべき

であり、補助金ではなく

管理委託金が適当ではない

のか。

答 ▼浄化槽管理組合が活

動強化をされることが必要

であると考え、組合の育成

支援を目的に19年度は3、

640万8千円を交付し、

20年度についても同額の予

算が承認されています。浄

化槽の直接管理については、

旧町時代から個人設置・

管理を前提として推進して

います。市が実施している

保守点検や清掃業務につい

ても早急に民間業者へ移管

する予定で、直接管理を



△合併処理浄化槽

行なうことや委託料で扱うことは困難です。

問 市の経済対策につい

て、辺地対策事業を活用

し公共工事を発注すべきで

ある。また、農業振興整

備計画を見直し、経済の

活性化を図るべきでない

か。

答 ▼辺地対策事業債を活

用しています。土地利用

計画を十分見直し有効な

利用計画を考えます。

問 市は一般廃棄物処理

施設について、策定委員会

の答申を受け、炭化方式

を尊重するとしている。自

治体のごみ処理で、一番

重要視されることは、安

定的な処理と持続的な処

分である。住民の生活を

長期に支える処理方式の

選定には、情報を公開し、

共通の認識を持つことが不

可欠である。次の点につい

てどう考えるのか。

① 設備の安定性、信頼

性の確保。

② 安定した炭化物の販

路と展望の把握。

③ 塩分除去の対応。

④ 処理施設の建設費や

ランニングコストの見込

み。

⑤ 専門家による検討項

目と結果の出る時期。

⑥ 稼働までのマスタープ

ラン。

⑦ ストーカー方式に灰熔

融設備を併設した施設。

答 ▼策定委員会の実施した

「メーカーアンケート内容」

の精査、「処理方式を比較

評価した内容」などについ

て、日本環境衛生センター

に依頼し、専門家による

調査・検討をしています。

この報告書も踏まえ、総

合的に判断し、平成23年

3月には完成します。

問 15年度1日一人当た

りのごみ排出量は709g

で、18年度は810gと

なり、3年間で100g

も増えている。

ごみ処理に必要な金額は

7億7,646万円で、市

民一人当たり1万900

円となり、毎日30円強が

必要である。

地域ぐるみでごみの

減量化により、ごみが

減れば、今までかけて

いたごみ予算を、地域

が美しく、元気になる

事業に補助ができた

り、子供たちのために

政策投資できる環境

を整えていただきたい。

現状を知ってもら

い、これからさらに減

量化の為の分別やリサ

イクルなど、啓発や職

員による説明会の実

施を繰り返し行なう

場づくりが必要ではな

答 ▼持続可能な循環型・

社会を実現するためには、

必要不可欠な課題と認識

しております。

市民・事業者の皆様が

その役割をよく理解され、

ごみの減量化、資源化が

推進できるよう様々な情

報を発信しています。



△増えつづける生活ゴミ



△環境ハンドブック

「平和市長会議」への加盟を

県内の動向をみて検討します

前川豊市議員

問 広島市と長崎市が呼びかけている「平和市長会議」に丹波市は加盟していない。合併前の柏原・水上・青垣・春日の4町は「非核・平和都市宣言」をしている。そうしたことを考えても積極的に加盟すべきでないか。

答 ▼ 「平和市長会議」は、核兵器の廃絶をはじめ、飢餓、貧困、難民、人権などの諸問題の解決に努力し、世界の恒久平和を目的とした会議です。市としては、県内の動向をみながら検討したいと考えています。

問 市の地域医療が大変厳しい状況の中で柏原赤十字病院は、医師、看護師、職員が一丸となって努力されている結果、入院・外来患者が増えている。こうした現状をふまえ、丹波市連合婦人会が赤十字奉仕団として「病院内科

ランテイヤ活動」に取り組まれる。市はこの活動を支援すべきだ。

答 ▼ 丹波市連合婦人会が実施される赤十字奉仕団の活動は、崇高なボランティア活動と理解しています。こうした地域医療とお医者さんを守ろうとされている人道的な活動に対してさらに支援をしていきたいと考えています。

介護保険の第4期計画は

市の現状を見極めて検討します

西本嘉宏議員

問 介護保険の第4期事業計画の策定は人材を確保し、介護報酬を引上げ「介護とりあげ」は止め、訪問介護を守ること。特養ホーム整備を進め、待機者の解消を図り、介護保険料・利用料の値上げを抑えられたい。

答 ▼ 2015年の介護の姿を見据え、課題に対応します。介護報酬は、引上げられる方向です。人材は養成講座などを検討します。介護サービスは国の基準で行ない、地域密着型サービスに努めます。保険料は介護報酬の動向をみながら決定します。減免は、今年度から一部行ないました。

問 公共事業の水準と質の確保に向け、入札における賃金や労働条件など法規遵守を図ること。最低制限価格を委託事業含む請負契約に適用し、価格



△介護予防体力アップ教室の様子

だけでなく総合評価方式の実施や地元企業の受注機会を拡大。「公契約」条例の制定はどうか。

答 ▼ 建退共・証紙の添付実績の報告など今後指導などについて検討します。業務の最低制限価格は、継続協議しています。総合評価項目は検討が必要です。ISO取得などの企業には優遇措置を行ない、地元企業の受注確保をしています。今後も実情を踏まえ入札の改善について引き続き検討していきます。

2病院を丹波市モデルで統合を

慎重にならざるを得ません

奥村正行議員

問 神戸大学は、医師を集約し、地域内での最適化を図らなければ、医師の派遣は難しい。県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合を提案していた。10月から派遣される医師は、希望していた内科医の派遣はない。市内には、全国から注目されている市民運動

答 ▼ 柏原病院の小児科を守る会や「丹波医療再生ネットワーク」があり、丹波モデルの新しい病院を県に提案すべきではないか。

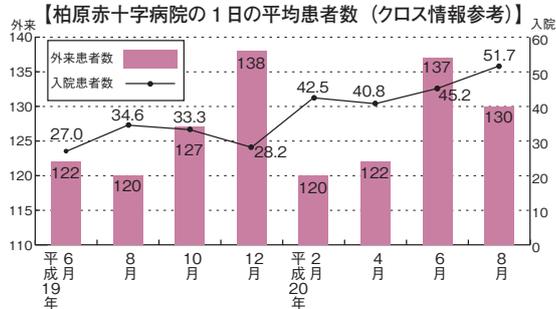
問 神戸大学は、医師を集約し、地域内での最適化を図らなければ、医師の派遣は難しい。県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合を提案していた。10月から派遣される医師は、希望していた内科医の派遣はない。市内には、全国から注目されている市民運動

問 「地震防災対策特別措置法改正法」が成立し、学校施設の耐震化を進めなければならない。黒井小学校は、旧町時代に耐震基準からも、改築が必要との議会議事録にある。改築ではなく耐震補強するのか。

答 ▼ 構造耐震指標Is値0.3未満は、早急な耐震化を図り、施設整備計画をまとめ、「安心・安全な学校づくり」をめざします。



△2病院の統合を



滞納処理の対策は

条例を整備し債権回収に努めます

小寺昌樹議員

問 不納欠損額 8、600万円、収納未済額 11億1,500万円と増大している。滞納管理システムを早期整備する考えはあるのか。私債権（裁判所の関与が必要な債権）は事務の効率化のため、私債権管理条例の制定をすべきでないか。

答 国、県も厳しい財政状況下であり、事業が進むようさらに強く県などに要望します。

問 里山整備事業の推進と、民家まで来たヤマビル防除対策をどう進めるのか。

答 「災害に強い森づくり」を推進し、森林環境の整備に努めます。ヤマビルは、発生抑止と防除の有効措置を検討します。

問 統一した電算システム管理が望まれます。自力執行権のない私債権についても、法的措置により債権回収が図られるよう条例などの整備を進めます。

問 将来の市政執行の活力に繋がる税源涵養施策をどう考えているのか。

答 産業、企業、地域間に通じた新たな活性化に向け「振興協議会」の設置準備をしています。

問 国、県も厳しい財政状況下であり、事業が進むようさらに強く県などに要望します。

問 里山整備事業の推進と、民家まで来たヤマビル防除対策をどう進めるのか。

答 「災害に強い森づくり」を推進し、森林環境の整備に努めます。ヤマビルは、発生抑止と防除の有効措置を検討します。

問 産業、企業、地域間に通じた新たな活性化に向け「振興協議会」の設置準備をしています。

問 国、県も厳しい財政状況下であり、事業が進むようさらに強く県などに要望します。

問 国、県の財政事情を不安視する時、安全安心をど

う確保するのか。



△災害に強い丹波市を

人権尊重の地域づくりは

地域の人権教育を支援します

平井孝彦議員

問 地域コミュニティの再生には、人と人がつながり共に支えあう人権を尊重する地域づくりが重要である。差別の本質を見抜く人権教育が薄れている。地域づくりに人権をどのよう

に考えていくのか。



△人権文化の市民運動

問 地域が主体となり市民のための人権学習の取り組みを支援するとともに関係者・団体等を対象に研修機会を提供、教育委員会と市長部局が、連携して進めます。

問 救急現場に医師が同乗、救急救命士とともに治療にあたり病院に搬送するシステムは、病院の協力が不可欠だ。柏原赤十字病院に協力要請はできないか。

問 救急現場に医師が同乗、救急救命士とともに治療にあたり病院に搬送するシステムは、病院の協力が不可欠だ。柏原赤十字病院に協力要請はできないか。

問 医師7名の内、6名が内科医の柏原赤十字病

院では同乗システムは困難です。

問 119番通報時に通報者や回りの人に携帯電話の画像やTV映像を利用して救急車が到着まで応急手当指導を行うシステム導入の考えは。

問 119番通報時に通報者や回りの人に携帯電話の画像やTV映像を利用して救急車が到着まで応急手当指導を行うシステム導入の考えは。

問 通報者や事故に遭遇した人がリアルタイムに動画送信できる映像精度が向上すれば、通信指令員に救急救命士を配置し、応急手当を指導するシステム構築も考えます。

問 通報者や事故に遭遇した人がリアルタイムに動画送信できる映像精度が向上すれば、通信指令員に救急救命士を配置し、応急手当を指導するシステム構築も考えます。

水道ビジョンの再検討を

地元理解が得られるよう努めます

大木滄夫議員

問 19年度市水道会計決算審査意見書によると、今後の推進について「社会情勢の変化を考慮し、事業の効率性、計画性について妥当かどうかもう一度設計段階から十分に精査し、検討すべき」とある。その意見書に基づいて、市長の考えは。また青垣水源からの取水については地元、周辺地域さらには下流域の住民からも「水は命と同じだ。絶対に容認できない」「新水源取水に起因する損害についての定義は証明する根拠がない」との反対の声が上がっている。今後どのように説明していくのか、取水に対して理解が得られない場合の計画推進はどうか。また由良川水系での新水源調査は行なわないのか。

問 19年度市水道会計決算審査意見書によると、今後の推進について「社会情勢の変化を考慮し、事業の効率性、計画性について妥当かどうかもう一度設計段階から十分に精査し、検討すべき」とある。その意見書に基づいて、市長の考えは。また青垣水源からの取水については地元、周辺地域さらには下流域の住民からも「水は命と同じだ。絶対に容認できない」「新水源取水に起因する損害についての定義は証明する根拠がない」との反対の声が上がっている。今後どのように説明していくのか、取水に対して理解が得られない場合の計画推進はどうか。また由良川水系での新水源調査は行なわないのか。

問 意見書について今後漏水調査などを確実に行ない、管路の更新を早期に進め、有収率を向上させ、経営改善に努め、計画変更をせず推進していきます。新水源については説明が十分でなかったことを反省しています。今後は地域の不安を解消するため、努力していきます。なお由良川水系では春日・市島地域で実施済みであり調査は考えていません。

問 意見書について今後漏水調査などを確実に行ない、管路の更新を早期に進め、有収率を向上させ、経営改善に努め、計画変更をせず推進していきます。新水源については説明が十分でなかったことを反省しています。今後は地域の不安を解消するため、努力していきます。なお由良川水系では春日・市島地域で実施済みであり調査は考えていません。



△長期的な展望を

身近なコミュニティの再生を図れ

持続できる地域づくりをすすめます

足立 修議員

問 自治体は、地方では最大の事業発注者である。行革をすすめる一方では、

大幅な繰越財源を繰り上げ償還と積立金で処理してきている。財政の安定は必要であるが、地域経済活性化への投資も考えてフランスのとれた施策がより重要ではないか。

答 ▼平成27年度からの交付税一本算定を考慮して長期的な市財政の安定をめぐり財政運営を行なっています。

問 身近なコミュニティが崩壊しつつある中で、地域づくりの原点は集落自治会や社会教育活動の再生にあるのではないか。草の根の自治活動から地域づくり事業を再構築すべきではないか。

答 ▼地域づくりは、支所と公民館の一体化を検討する中で進めます。自治会とは役割の調整が必要です。地

域づくりは、市の土台づくりとして取り組みます。

問 水源問題が座礁している。水の需要側の論理ばかりではなく、供給側の水源地域の長期的な維持安定を施策として地元との話し合いを十分に進めるべきではないのか。

答 ▼水が地域にとって重要な資源であることを認識し、植林などを含めた話し合いを進めます。



△水源の里神楽地域

交流を通じた農業振興を

情報発信や普及啓発に努めます

田村庄一議員

問 農村と都市との交流をさらに進め、農業振興や地域の活性化を図るために、交流の拠点づくり、農業体験やイベントの情報発信、ホームページ活用などの充実が必要である。また、交流活動の実態や動向、採算や課題などをまとめた交流



△丹波での農業体験：黒豆の植付け

白書の作成や、市民農園などのノウハウ研究講座を開催してはどうか。

答 ▼地域づくり拠点施設の活用、民間の空き施設の有効利用など、地域主体の観点で拠点づくりの検討も必要と考えます。

交流計画の把握や効果的な情報の発信、民間主導による市民農園の開設計画や普及啓発などに努めます。交流白書の作成も研究したいと思います。

問 火山土取場跡地には今も多くの土砂が仮置きのままになっている。監査委員の意見書にもあるように、遊休地の有効活用に向けて早期に土砂を処分し、元の広場に復元すべきではないか。

答 ▼台風災害の復旧事業による仮置き土砂は、今後公共事業への活用を予定する。また、跡地は事業用地として有効活用を考えています。

問 丹波市発足から4年が経過しようとしている。様々な思いがあるなかで、市民に対して極端な負担を求めることなく行財政改革に努め、他市に劣らぬ市の基礎を築いて来られたことに敬意を表する。市長はどう総括し、今後をどう考えているか。

答 ▼丹波市の初代市長として、心の合併、安全・安心なまちづくり、自主創造の教育の実現、快適な生活環境の創造、厳しい財政への対応と地方分権への対応の、5つの公約をしました。それぞれ一定の実現はできたと評価しています。今後は、地域医療の充実、緊急の経済対策として、農林商工業の振興に一層の指導・支援をする必要があります。さらに、「認定こども園」への取り組み、社会・生活基盤の整備では、ごみ処理場の建

辻市政4年間の総括は

市の基礎づくりができました

小山欣弥議員

設、水道の整備促進、道路整備や河川改修などを進め、「住んでみたい」、「住んで良かった」、「これからも住み続けたい」といえる「完成したまちづくり」を市民の参画と協働のもとに進めます。また、JR複線化、恐竜を活かしたまちづくりなど、課題は山積ですが、行政力、市民力、産業力を高め取り組まします。



△まちづくりの完成をめざし

総務 常任委員会

本会議において、付託された平成20年度一般会計補正予算など10議案と、請願を9月22日の委員会、副市長および関係者の出席を求め審査を行いました。6議案と請願は賛成全員、4議案を賛成多数で可決しました。

補正予算の主な質疑

問 図書購入は、すでに済んでいると思うが、補正600万円（小学校分）は何か。

答 新学習指導要領に対応した図書の購入費です。予算の前倒しで購入します。

問 幼稚園施設整備事業、設計監理委託料930万円は何か。また対象の園はどこか。

答 耐震補強の黒井、竹田、崇広幼稚園の実施設です。

問 地域づくり交付金の補正の使途と地域は。

答 新たな指定管理開始にともなう拠点施設の維持管理費算定分の増額です。

条例審査

▼賛成多数で可決

丹波市立文化ホール条

例の一部改正

問 計画図では、ギャラリーが廃止される。代わりの場所はどこを考えているのか。また、玄関そばに職員更衣室が計画されているが、変更できないか。

答 2階の図書室のスペースなどを利用できます。更衣室は必要で、他に適当な場所がありません。

問 丹波市特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

答 賛成全員で可決

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

丹波市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

丹波市教育振興基本計

画審議会条例の制定

丹波市立体育施設条例の一部改正

丹波市立春日テニスコートの廃止

春日公民館改修工事請負契約の締結

契約金額1億3,650万円

相手方 (株)森津工務店

工期 平成21年3月10日まで

平成20年度丹波市駐車場特別会計補正予算



△改修される春日公民館と文化ホール

請願審査

▼市内商工業への支援に関する請願

請願者 丹波市商工会
会長 村上 康充
紹介議員 山下 栄治
堀 幸一
田坂 幸恵
藤本 正巳
広瀬 憲一

【項目】

1 発注は、地元企業の育成と落札資金の循環による地元活性化と地方消費税等の丹波市歳入のためにも市内に本店を有するものであること。

2 建設工事に係わる入札は、工事の品質確保や下請関係のさらなる適正化を図るため、物価高騰に対応した予定価格の適用と、最低制限価格の引き上げを行う。以上の内容について審査を行ない、採択しました。

請願・陳情のご案内

市政について、直接市議会に要望や希望を出すことができる制度として、請願・陳情があります。

丹波市議会では、請願はそれぞれ担当の委員会が審査され、その結果採択された請願は、関係機関に意見書などを提出したりします。

陳情書は、その写しを全議員に配布し、陳情の趣旨を伝えていきます。

なお、請願書の提出に際しては、最低1名以上の紹介議員が必要ですが、陳情書には必要ありません。

請願（陳情）者が二人以上の場合、代表者を定めてください。

(請願(陳情)書の例)

〇〇〇〇に関する請願(陳情)書

年 月 日

丹波市議会議長 〇〇〇〇様

請願(陳情)者

住所 氏名
紹介議員 氏名

印 印

請願(陳情)の趣旨

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

請願(陳情)項目

1. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
2. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

民生 常任委員会

本会議で質疑の後、付託された平成20年度の補正予算や条例制定など14議案と、人権擁護委員同意議案10件について、9月24日に市長など関係者の出席を求め審査を行ない、13議案を全員賛成で、1議案を賛成多数で可決し、同意議案は全て全員で同意としました。主な質疑は次のとおりです。

▼一般会計補正予算

問 療育センター整備事業の内容は。

答 療育係を新設しており黒井の保健センターの間取りなどを改修し、個別の機能訓練と保育を軸に集団療育を行ないます。

問 アフタースクールの登録が年々増加している。今後の対応は。

答 本来必要な児童だけを受け入れる施設であり、申請の時点で理由を明記してもらい、公平に審査し、入所を断る場合もあります。

▼丹波市犯罪被害者等支援条例の制定

問 傷害支援金10万円、遺族支援金30万円の算出根拠は。また、新たな条例を制定するより、見舞金条例の一部を改正した方が運用し易いのではないか。

答 金額は制定している県内4市と同額としました。一時的な精神的負担を、できるだけ早く、市の責任においてやわらげる支援であり、新たな条例

認定こども園と健康づくり事業を視察

能登半島の中ほどにある七尾市は、能登の未来を担うひとつづくりを重視した取り組みの中で、認定こども園についても、全

国に先駆けて取り組み、先進的な子育て支援を展開しています。

平成19年4月より、公立保育園1園が保育所型認定こども園として、

また、私立3園の幼稚園の内、2園が幼稚園型認定こども園として運用開始しました。小学校との連携、私立こども園への支援、保育園型と幼稚園型の運営費など、さまざまな課題を抱えながら、平成

17年度に32園あった保育園を、平成21年度に

制定としました。

問 審査会を作るのか。

答 被害者より申請してもらい、部内で書類審査

は、22園に統合する計画です。丹波市においても、認定こども園への移行が進められていますが、地域住民や保護者の意見をできるだけ取り入れ、保育の質を高める取り組みが求められます。

福井県のほぼ中央に位置する越前市は、人口

8万7千人、安心して暮らせる環境づくりと、健康なまちづくりを目指して、健康に関する市民アンケートにより、今後の

方向性を定め、「健康21計画」の改訂版を策定しました。健康推進協議会が核となり、各地区での健康イベント、健康トライ事業、ウォーク事業、多岐にわたる推進員制度など、官民一体で重点事業を推進しています。

「健康寿命日本一」を目指す丹波市も、健康づくりを市民運動として、強力に展開する必要があります。

産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会では、本委員会に付託された13議案について、現地調査を含め市長など関係者の出席を求め審査を行ない、12議案を賛成全員で1議案を賛成多数で可決しました。審査した主な議案は次のとおりです。

市道路線の認定

この議案は、ゴミ処理施設建設用地の決定による、進入路の確保のために新たに市道を認定するものです。

答 税務署の租税特別措置法の適用を受けるためには、市道の認定を必要とする旨の指導により計画の段階で認定を求めています。

問 市道の認定は、完成してからするのはないのか。



△七尾市 認定こども園の視察



△市道野々間線の現地調査

地域で育て守り続ける 夏祭り

沼貫ふるさと祭り実行委員会
委員長 広瀬 昭

毎年恒例の「沼貫ふるさと祭り」も今年で35回目を迎え、記念すべき祭りとなりました。今年4月から、自治振興会、商工会、各種団体の役員が一丸となって祭りに向け準備を進め「今年の夏も夢がながる沼貫の祭り」をテーマに、8月2日盛大に開催することができました。祭りに併せて、交通事故防止、犯罪のない地域づくりの為に兵庫県警察音楽隊の皆様にご花を添えていただき、祭りが一段と盛り上がりを見せ、舞台では横山ホットブラザーズによる歌謡漫才など、夏の夜の一時を楽しませていただきました。

また、子どもたちが自ら企画した子ども広場と地元各種団体による夜店、作品展示にも沼貫の名物として賑わいました。豪華な打ち上げ花火も来年に向け大きな期待が寄せられています。最後にお楽しみ抽選会で無事に祭りを終えました。

関係者に感謝しつつ今後もこの祭りを通じ地域の発展と活性化につながればと願っています。



▲盛大な沼貫ふるさと祭り

就学前のこどもたちの よりどころとして

社会福祉法人みつみ福祉会
みつみ保育園 園長 吉見 直人

みつみ保育園は、これまで山南町岩屋でこどもたちの育ちに寄り添ってきましたが、建物の老朽と、こばと・ながの公立2保育所の閉園に伴い、今年度から谷川に場所を移して保育を展開しています。

今回の移転事業につきましては、丹波市議会をはじめとする丹波市行政、地域の皆様の支えによりまして、素晴らしい環境を与えていただき、新しく希望に満ちた園舎で保育が行えることに職員一同感謝しています。

今年度保育園で力を入れています「子育て支援事業」には、在宅の子育て家庭が約70組が登録いただき、月6回程度の支援事業を実施、また看護師の配置により、「病後児保育」を実施させていただいています。

今後も保護者の皆様や地域の皆様にご指導を頂きながら、地域の就学前のこどもたちのよりどころとして信頼いただけるように努めます。



▲子育て支援事業

市民の投稿

表紙説明

毎年秋の**ひょうすず**の乗った太鼓みこしが黒井の町内を練り歩きます。

兵主神社は戦国時代から**ぼうちう**の守り神として有名で、近衛家とゆかりがあり、平癒祈願や寄進された宝物が残っております。

境内には巨木が多く、種類も豊富でオガタマノキも知られています。

編集後記

議会広報誌も今回で16号、担当した議員6名最後の発行となりました。

皆さんにわかりやすくお伝えするためには、紙面をどう活用すればよいか、悪戦苦闘の編集作業でした。

より親しまれる「議会だより たんばりんぐ」の今後に期待し、これまでのご愛読に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報発行特別委員会

委員長	竹知 正明
副委員長	荻野 拓司
委員	大野 亮祐
委員	奥村 正行
委員	高橋 信二
委員	足立 鉄男